

令和5年度公民館 事業状況

1 施設の利用状況

単位：件/人

公民館	件数	人数
上尾	3,502	43,000
上平	3,585	34,600
平方	2,296	19,540
原市	2,612	21,490
大石	3,153	35,019
大谷	1,721	17,298
合計	16,869	170,947

主催事業

上段事業数(件)/下段延べ参加人数(人)

公民館	学習機会の提供								成果の活用	合計
	きっかけを作る学び						連携・協働した学び	地域に向き合う学び		
	世代別	一般教養	文化・芸術	健康スポーツ	家庭生活	人権教育				
上尾	5	3	4	2	2	1	2	2	1	22
	126	184	132	48	56	27	116	62	—	751
上平	5	2	3	4	2	1	2	2	2	23
	87	27	120	155	37	17	93	36	—	572
平方	5	3	4	2	2	1	2	2	1	22
	209	186	280	109	92	20	101	25	—	1022
原市	4	3	6	2	5	1	3	1	2	27
	156	96	283	158	89	20	301	21	—	1124
大石	5	3	4	2	2	1	2	2	1	22
	196	184	503	68	61	26	576	50	—	1664
大谷	3	3	2	2	2	1	4	0	1	18
	64	192	60	52	78	19	91	0	—	556
※ 中止した事業については、公民館事業記録集をご参照ください。									合計	134
										5,689

令和5年度 公民館事業評価

〈施策の柱1-1〉きっかけをつくる

評価項目	点数	達成度	補足
各講座事業の実施	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:各事業実施 b:未実施の事業が1つある c:未実施の事業が2つある d:未実施の事業が3つ以上ある
講座の満足度	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:「満足」が70%以上 b:「やや満足」以上が70%以上 c:「やや満足」以上が50%以上 d:「やや満足」以上が50%未満
特色ある講座や講座開催方法の取り組み	20	a:20 b:10 c:0	a:取り組んだ b:検討中 c:取り組まなかった
住民ニーズの把握・見直しの実施	20	a:20 b:10 c:0	a:全ての事業で実施した b:80%以上の事業で実施した c:実施していない事業が多くある

評価・合計点数
A:80点以上
B:60点以上
C:40点以上
D:40点未満

		上尾		上平		平方		原市		大石		大谷	
基本目標1 施策の柱1-1 きっかけをつくる	各講座事業の実施	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	b:未実施の事業が1つある	20	a:各事業実施	30	c:未実施の事業が2つある	10
		計画した全ての講座を実施した。		すべての分野にわたる事業を実施した。		計画した全ての講座を実施した。また、応募者の多い講座については講師と相談し定員を増やしたり、追加の講座を行った。		「親子で3B体操～パパといっしょに楽しもう!～」は、応募者が少なく中止とした。事業計画時に改善をしていきたい。また、応募者の多い講座については、講師と相談し、定員を増やした。		計画した講座はすべて実施した。		空調設備工事を年度末に実施したため2事業中止した。	
	講座の満足度	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30
		どの講座も概ね好評だった。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。		どの講座も好評であった。引き続き、参加者が満足できる事業を実施していきたい。		どの講座もアンケート提出者の評価は高く、全参加者を対象とするアンケートでは「満足」は85%となった。		どの講座も概ね好評だった。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。		全体を通して満足度は高く、全参加者を対象とするアンケートでは「満足」は80%となった。		受講成果を得たと感じられるためには時間が短すぎた講座もあった。	
	特色ある講座や講座開催方法の取り組み	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20
		講座「はじめての阿字観(瞑想法)体験」では、遍照院住職の協力により、同院で弘法大師を始めとし今に伝えられる瞑想法を体験した。今後も、特色ある講座を実施していきたい。		アンデルセン童話にまつわる「高梨智子ピアノコンサート」では、デンマークの音楽や生活に関して学べるように実施した。		アンドロイドスマートフォンに搭載されているアプリの機能や利便性を学び、生活に役立てる講座を実施した。		「はらいち寄席」を開催し、多くの方にお届けすることができた。今後も特色ある講座を実施していきたい。		曹洞宗小谷山東楽寺を訪ね、法話とイス坐禅を体験する取り組みを行った。		スポーツ健康都市宣言を受け、シューフィッターによる靴と足の基礎知識を学ぶ講座を実施し、健康的なウォーキングの普及を目指した。	
住民ニーズの把握・見直し	a:全ての事業で実施した	20	a:全ての事業で実施した	20	b:80%以上の事業で実施した	10	a:全ての事業で実施した	20	b:80%以上の事業で実施した	10	a:全ての事業で実施した	20	
	講座実施後、アンケート結果を基に公民館職員全員で講座の見直しを行い、住民ニーズの把握に努めた。		講座終了後のアンケート結果を共有し、今後の事業に際しての住民ニーズの把握に努めた。		前年度のアンケート結果を基に、開催希望の多い講座を実施した。		講座実施後のアンケート結果を基に、住民ニーズの把握に努めた。今後の講座の見直しに反映させ、来年度以降に計画する事業に活かしていきたい。		講座終了後のアンケートに基づき、今後の事業計画に生かしている。ニーズ把握に努めている。		アンケート結果をもとに、講座のテーマ、進め方などニーズを次回に反映させるよう努めた。		
評価・合計点数	A:80点以上	100	A:80点以上	100	A:80点以上	90	A:80点以上	90	A:80点以上	90	A:80点以上	80	

公民館運営審議会 委員意見

- ・講座によっては10代や男性の参加者が増えており、地域への関心や学習に対する意欲の高まりを感じている。
- ・「初めての○○」という事業が多く、趣味を広げるということで生涯学習課に繋がる良い機会を提供できていると感じた。
- ・「SDGs」の事業企画は良いのですが、もう少し分かりやすい広報(周知)が必要だと思った。

〈施策の柱1-2)人と地域の絆をつくる

評価項目	点数	達成度	補足
各講座事業の実施	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:各事業実施 b:未実施の事業が1つある c:未実施の事業が2つある d:未実施の事業が3つ以上ある
講座の満足度	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:「満足」が70%以上 b:「やや満足」以上が70%以上 c:「やや満足」以上が50%以上 d:「やや満足」以上が50%未満
特色ある講座や講座開催方法の取り組み	20	a:20 b:10 c:0	a:取り組んだ b:検討中 c:取り組まなかった
住民ニーズの把握・見直しの実施	20	a:20 b:10 c:0	a:全ての事業で実施した b:80%以上の事業で実施した c:実施していない事業が多くある

評価・合計点数
A:80点以上
B:60点以上
C:40点以上
D:40点未満

		上尾		上平		平方		原市		大石		大谷		
基本目標1 つくる	施策の柱1-2 人と地域の絆をつくる	各講座事業の実施	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	a:各事業実施	20	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30
		講座の満足度	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	20	a:「満足」が70%以上	30	b:「やや満足」以上が70%以上	20
		特色ある講座や講座開催方法の取り組み	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	b:検討中	10
		住民ニーズの把握・見直し	a:全ての事業で実施した	20	a:全ての事業で実施した	20	c:実施していない事業が多くある	0	a:全ての事業で実施した	20	b:80%以上の事業で実施した	10	a:全ての事業で実施した	20
		評価・合計点数	A:80点以上	100	A:80点以上	100	A:80点以上	80	A:80点以上	80	A:80点以上	90	A:80点以上	80
		<p>計画した全ての講座を実施した。</p> <p>郷土理解、人権教育、行政課題に沿った事業について全て実施した。</p> <p>人権教育、環境講座など関係各課と連携のすべての事業を実施した。</p> <p>計画した全ての講座を実施した。</p> <p>人権、郷土、各課との連携事業を実施した。</p> <p>計画通り実施した。</p>												
		<p>どの講座も概ね好評だった。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。</p> <p>どの事業も好評であった。引き続き、参加者が満足できる辞表を実施していきたい。</p> <p>どの講座もアンケート提出者の評価は高く、全参加者を対象とするアンケートでは「満足」は85%となった。</p> <p>「川柳にみるジェンダー～人間っていいもんだ～」では、98%の参加者が「満足」と回答。満足度が高かった。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。</p> <p>それぞれ満足度は87%以上となった。</p> <p>講座により差があるが、歴史分野についてはテーマと内容を明確にしないと受講者とのギャップが生じるので、注意が必要である。</p>												
		<p>「たくさんあるぞ！上尾の祭り」と民俗芸能」では、上尾の祭りや民俗芸能を知ることでも上尾の文化・芸術・文化財への理解を深めた。</p> <p>人権に関する講座として、新聞記者の目から地域の歴史や文化をどのように伝えられているか、情報を読み解く力についてメディアリテラシーの観点から考える講座を開催した。</p> <p>地元である秀明栄光高校の全面的協力によりeスポーツ体験教室を開催した。</p> <p>歴史講座では、上尾市指定文化財に登録されている密蔵院の仏像と京仏師、西尾氏関連の仏像などについて学び、地元の歴史・文化に目を向けてもらうことができた。</p> <p>ヤングケアラーを理解するための講座は地域の協力がなくてはならないものとして効果があった。</p> <p>川柳を通して反戦を訴えた作家を題材にすることで、文学から人権を考える方法を取った。</p>												
		<p>講座実施後、アンケート結果を基に公民館職員全員で講座の見直しを行い、住民ニーズの把握に努めた。</p> <p>講座終了後のアンケート結果を共有し、今後の事業に際しての住民ニーズの把握に努めた。</p> <p>人権や環境についてはニーズは少ないが、社会として考えていかなくてはならない課題として実施した。</p> <p>講座実施後のアンケート結果を基に、住民ニーズの把握に努めた。今後の講座の見直しに反映させ、来年度以降に計画する事業に活かしていきたい。</p> <p>人権講座については、広くニーズの把握に努める必要がある。</p> <p>人権教育に関心を持ってもらえるテーマで実施することで、気軽に参加でき、啓発を進められるようにした。</p>												
公民館運営審議会委員意見		<p>・「赤ちゃんとママのふれあい教室」では参加者が若年層であり、普段は公民館を利用しない世代であり、公民館を知ってもらうきっかけになったと感じる。また、子育てで社会から隔離されがちなのママや人これら間関係を構築していく子供たちにとって、地域内での友達作りに繋がっていくことも良いと思った。</p> <p>・「埼玉新聞は地域の歴史、文化をどうつたえてきたか」は地方紙が長年どのように地域の情報等を伝えてきたか、非常に興味深く、改めてメディアリテラシーは持ち続けようと思った。</p>												

〔施策の柱2-2〕活動を支える

評価項目	点数	達成度	補足
学習成果発表機会（公民館まつり等）の提供	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:希望する団体全てが参加できた b:団体を限る等制限を行って実施した c:計画はしたが実施しなかった d:実施も計画もしなかった
学習成果発表機会の環境整備	20	a:20 b:10 c:0	a:取り組んだ b:一部取り組んだ c:取り組んでいない
新たな情報発信への取り組み	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:取り組んだ b:取組予定 c:検討中 d:取り組んでいない
学習機会の提供	20	a:20 b:10 c:0	a:毎月行っている b:毎月ではないが行っている c:ほとんど行っていない

評価・合計点数
A:80点以上
B:60点以上
C:40点以上
D:40点未満

		上尾		上平		平方		原市		大石		大谷	
基本目標2 施策の柱2-2 活動を支える	学習成果発表機会（公民館まつり等）の提供	a:希望する団体が全て参加できた	30	a:希望する団体が全て参加できた	30	a:希望する団体が全て参加できた	30	a:希望する団体が全て参加できた	30	b:団体を限る等制限を行って実施した	20	b:団体を限る等制限を行って実施した	20
		「第46回上尾公民館まつり」を2日間に亘り実施した。		作品展示発表会、音楽サークル発表会とともに、希望するすべての団体が参加できた。		当公民館で活動するサークルの展示会・発表会を11月17日に同時開催を行った。		昨年度に引き続き、「春のコンサート」・「サークル活動紹介展」を実施。今年度は、「体験会」を実施した。「体験会」参加者から3名がサークルに加入した。		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、飲食物の販売、提供はおこなわなかった。		会員募集において、活動内容の体験ができる団体を募集した。	
	学習成果発表機会の環境整備	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20
		作品展示が適切に行えるよう、限られた展示スペースで、参加団体の理解を得ながら実施することができた。		展示については、スペース確保のための工夫を行った。音楽サークル発表会については、プログラムの円滑な進行ができるよう、条件整備に努めた。		昨年度は、展示会と発表会を別の日に実施したが同日に実施することで色々な学習成果を観てもらえることが出来た。		作品展示が行えるよう、展示スペースの確保や密にならないように工夫するとともに展示期間をとったことで、途中で展示替えを行うサークルもあり、活動意欲向上に繋がった。		各サークルの活動が継続できるよう、展示スペースを確保する等した。		会員の高齢化などで実行委員会によるサークル主体の「公民館まつり」の開催が困難な中、公民館主体の体験会を実施した。	
	新たな情報発信への取り組み	c:検討中	10	a:取り組んだ	30	a:取り組んだ	30	a:取り組んだ	30	a:取り組んだ	30	a:取り組んだ	30
		現在は、広報・市ホームページ・チラシの配布等で講座の発信をしているが、幅広い世代に発信してもらえるような発信方法を検討している。		今年度から、作品発表会期間中に、集客の多い音楽サークル発表会を実施し、成果の発表が効果的になるよう取り組んだ。		前年度実施した講座全てのポスターや参加者の感想などを含め館内に掲示し、講座受講の楽しさをPRした。		広報あげお・市ホームページ・チラシの配布で講座の発信をしている。小学生対象の事業については、原市小学校のさくらメールで配信してもらったものもある。発信方法については今後も検討していく。		広報誌・市ホームページ・チラシにより、講座情報の発信をしている。より幅広い世代に発信してもらいたいので、引き続き発信方法を検討している。		親子での体験参加とし、子供に関心を持ってもらうこと、親に活動に参加してもらうこと、サークル会員に若者へ指導することで新たな意欲を持ってもらうことを狙った。	
学習機会の提供	a:毎月行っている	20	a:毎月行っている	20	b:毎月ではないが行っている	10	a:毎月行っている	20	a:毎月行っている	20	a:毎月行っている	20	
	窓口や電話でサークルの紹介や講座の情報などを提供した。		年間を通じて、サークルの紹介や講座の情報を窓口や電話で提供している。		窓口や電話でサークルの紹介や講座の情報などを提供した。また、講座から新規サークルを立ち上げるサポートを行った。		年間を通して、窓口や電話でサークルの紹介や講座の情報などを提供した。また、講座から新規サークルを立ち上げるサポートを行った。		サークルのチラシを印刷配布などの他、窓口や電話でサークルの紹介や講座の情報などを提供した。		サークルの会員募集案内を館内に掲示したり、講座情報を周知している。		
評価・合計点数	A:80点以上	80	A:80点以上	100	A:80点以上	90	A:80点以上	100	A:80点以上	90	A:80点以上	90	
公民館運営審議会委員意見	<p>・上尾公民館、大石公民館でおこなわれた「公民館まつり」はそれぞれの地域に根付いた活動をおこなってると感じた。</p> <p>・来賓や市関係者（教育委員会、公民館運営審議会委員）の参加が例年に比べて少ないように感じた。わずかな時間でも良いので見学していただくと参加者にも喜ばれると思った。</p> <p>・「大石ふれあいコンサート」は事前申し込みではなかったため、担当者は準備が大変だったと思う。毎年楽しみにしているため、担当者の負担が増えない程度に今後も継続していただきたい。</p>												

〔施策の柱2-3〕

評価項目	点数	達成度	補足
公共施設日常点検の実施	20	a:20 b:15 c:10 d:0	a:毎日実施 b:定期的に実施 c:不定期に実施 d:未実施（未提出）
消防点検の実施	20	a:20 b:10 c:0	a:定期的に実施 b:不定期に実施 c:未実施（未提出）
修繕・改修の実施	40	a:40 b:30 c:20 d:0	a:全ての不具合を解消 b:利用できる状態に保たれている c:利用に制限をかける箇所がある d:未実施
備品管理	20	a:20 b:15 c:10 d:0	a:70%以上実施 b:50%以上実施 c:30%以上実施 d:30%未満実施

評価・合計点数
A:80点以上
B:60点以上
C:40点以上
D:40点未満

		上 尾		上 平		平 方		原 市		大 石		大 谷	
基本目標2 支える	施策の柱2-3 学びの場を支える	公共施設日常点検の実施	a:毎日実施 20	a:毎日実施 20	b:定期的に実施 15	a:毎日実施 20	b:定期的に実施 15	a:毎日実施 20	b:定期的に実施 15	a:毎日実施 20	b:定期的に実施 15	a:毎日実施 20	b:定期的に実施 15
			平日については、点検を毎日実施し、チェックシートを提出している。	平日には、点検を毎日実施し、チェックシートに記入している。	施設の修繕・清掃箇所などを定期的に点検している。	職員により日常的に施設の点検を実施している。	掃除を兼ねた毎日の点検を実施している。また、毎月1回公共施設日常点検チェックシートを作成、提出している。	毎朝、館内、外周の点検を行っている。					
		消防点検の実施	a:定期的に実施 20	a:定期的に実施 20	a:定期的に実施 10	a:定期的に実施 20	b:不定期に実施 10	a:定期的に実施 20	b:不定期に実施 10	a:定期的に実施 20	b:不定期に実施 10	a:定期的に実施 20	b:不定期に実施 10
			毎月点検を実施し、チェックシートを提出している。	消防計画に基づき、日常的に自主検査を実施している。	毎月点検を実施し、年2回設備点検を実施した。	毎月点検を実施し、チェックリストを提出している。	随時点検を実施。消火器の位置、火災の場合の役割分担などについて確認。	支所、図書館分館と連携した消防訓練の実施や、日常的な自主点検を実施している。					
		修繕・改修の実施	a:70%以上実施 40	b:50%以上実施 30	a:70%以上実施 40	a:70%以上実施 40	a:70%以上実施 40	a:70%以上実施 40	c:30%以上実施 20				
			あけお富士住建ホール（文化センター）が管理しているため上尾公民館では修繕を実施していない。必要な場合は、生涯学習課で修繕を実施している。	体育室の排煙装置、体育室・講座室1・会議室のLED化、調理室排水トラップなどを修繕。これらについては、他にも修繕の必要がある。	浄化槽のプレカー修繕工事を実施した。	講座室1に備え付けのスクリーンが破損したが、修理については、生涯学習課と調整済み。施設の老朽化に伴い、事例ごとに、その都度対応している。	事務室流し台及びドア修繕実施。修繕箇所などを把握しその都度点検改修している。	雨漏り、玄関・廊下・便器の破損、自動ドアの耐用年数超過など対応できていない。					
備品管理	a:70%以上実施 20	a:70%以上実施 20	a:70%以上実施 20	a:70%以上実施 20	a:70%以上実施 20	a:70%以上実施 20	b:50%以上実施 15						
	適切な備品管理ができた。	適切な備品管理ができた。	適切な備品管理ができた。	適切な備品管理ができた。	適切な備品管理ができた。	適切な備品管理ができた。	陶芸窯が点検の結果、使用不可となったが修繕、更新の見込みがない。						
評価・合計点数	A:80点以上 100	A:80点以上 90	A:80点以上 85	A:80点以上 100	A:80点以上 85	B:60点以上 75							
公民館運営審議会 委員意見	・便座にウォシュレットがついていない公民館が多く見られるため、早めの設置を検討して欲しい。 ・各公民館とも経年による施設や関連する設備の不具合や劣化が見受けられることが多くなってきた。講座やサークル活動だけでなく、地域で繋がる場所としての役割を今後も継続するために施設の修繕を進めて欲しい。												

〔施策の柱3-2〕産学官民をつなぐ

評価項目	点数	達成度	補足
各講座事業の実施	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:各事業実施 b:未実施の事業が1つある c:未実施の事業が2つある d:未実施の事業が3つ以上ある
講座の満足度	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:「満足」が70%以上 b:「やや満足」以上が70%以上 c:「やや満足」以上が50%以上 d:「やや満足」以上が50%未満
特色ある講座や講座開催方法の取り組み	20	a:20 b:10 c:0	a:取り組んだ b:検討中 c:取り組まなかった
住民ニーズの把握・見直しの実施	20	a:20 b:10 c:0	a:全ての事業で実施した b:80%以上の事業で実施した c:実施していない事業が多くある

評価・合計点数
A:80点以上
B:60点以上
C:40点以上
D:40点未満

		上尾		上平		平方		原市		大石		大谷				
基本目標3 つなぐ	施策の柱3-2 産学官民をつなぐ	各講座事業の実施	a:各事業実施 30	a:各事業実施 30	a:各事業実施 30	a:各事業実施 30	a:各事業実施 30	a:各事業実施 30	a:各事業実施 30	a:各事業実施 30	a:各事業実施 30	a:各事業実施 30	a:各事業実施 30			
			全ての講座を実施した。		全ての分野について事業を実施した。		大学校等との連携、学校・家庭・地域との連携について計画通り事業を実施した。		大学等との連携、学校・家庭・地域との連携について、計画通り事業を実施した。		電気保安協会、地域団体等との連携事業を実施した。		計画通り実施した。			
		講座の満足度	a:「満足」が70%以上 30	a:「満足」が70%以上 30	a:「満足」が70%以上 30	a:「満足」が70%以上 30	a:「満足」が70%以上 30	a:「満足」が70%以上 30	a:「満足」が70%以上 30	a:「満足」が70%以上 30	a:「満足」が70%以上 30	b:「やや満足」以上が70%以上 20	b:「やや満足」以上が70%以上 20	b:「やや満足」以上が70%以上 20	b:「やや満足」以上が70%以上 20	
			どの講座も概ね好評だった。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。		どの事業も好評であった。引き続き、参加者が満足できる事業を実施していきたい。		どの講座もアンケート提出者の評価は高く、全参加者を対象とするアンケートでは「満足」は85%となった。		どの講座もアンケート提出者の評価は高く、全参加者を対象とするアンケートでは「満足」は85%となった。		どの講座も概ね好評だった。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。		どの講座もアンケート提出者の評価は高く、全参加者を対象とするアンケートでは「満足」は90%となった。		具体例の提示やプリントの配付要望などの意見があり、今後の事業に生かしたい。	
		特色ある講座や講座開催方法の取り組み	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	a:取り組んだ 20	
			「あなたは大丈夫？フレイル予防講座」では、明治安田生命(相)の協力により、フレイル予防の講義だけでなく、野菜不足を判定する「手のひらセンサー」を用いて参加者全員を測定した。		聖学院大学准教授による古典文学講座を実施し、大学の教育活動で行っている専門性の高い講座を実施した。		e-スポーツ体験教室では、パソコン教室を改装した専用ルームを使用、学校の施設や所有する機器を使用させていただき、新時代の流れを体験する講座を実施した。		アンケートでもご要望の多かったスマホ講座を追加で行った。		健康増進課と大石食生活改善推進員協議会との連携事業を実施した。		健康増進課と大石食生活改善推進員協議会との連携事業を実施した。		血流改善や女性のための健康づくりなど民間企業の専門知識を取り入れた企画を展開した。	
住民ニーズの把握・見直し	a:全ての事業で実施した 20	a:全ての事業で実施した 20	a:全ての事業で実施した 20	a:全ての事業で実施した 20	b:80%以上の事業で実施した 10	a:全ての事業で実施した 20	b:80%以上の事業で実施した 10	a:全ての事業で実施した 20	b:80%以上の事業で実施した 10	a:全ての事業で実施した 20	b:80%以上の事業で実施した 10	a:全ての事業で実施した 20	a:全ての事業で実施した 20			
	講座実施後のアンケート結果を基に、住民ニーズの把握に努め、来年度以降に計画する事業に反映させたい。		講座終了後のアンケート結果を共有し、今後の事業における住民ニーズの把握に努めた。		講座実施後のアンケート結果を基に、住民ニーズの把握に努め、来年度以降に計画する事業に反映させる。		講座実施後のアンケート結果を基に、住民ニーズの把握に努めた。今後の講座の見直しに反映させ、来年度以降に計画する事業に活かしていきたい。		アンケート調査を継続して実施し、住民ニーズの把握を行い、事業計画に反映させる。		アンケート調査を継続して実施し、住民ニーズの把握を行い、事業計画に反映させる。		アンケート結果をもとにニーズを把握した。			
評価・合計点数	A:80点以上 100	A:80点以上 100	A:80点以上 100	A:80点以上 100	A:80点以上 90	A:80点以上 100	A:80点以上 100	A:80点以上 100	A:80点以上 100	A:80点以上 100	A:80点以上 100	A:80点以上 90	A:80点以上 90			
公民館運営審議会委員意見		<ul style="list-style-type: none"> ・大学や企業との連携や各種地域団体との協働等が更なる地域活性化となり、魅力ある上尾になることを願っている。 ・各公民館で企業とコラボする事業があり、今後の生涯学習のあり方の一つを示していると感じた。 														